

生涯教育文献目録 (1993.1~1993.12)

日本生涯教育学会

凡 例

- (1) 学会員を対象に1994年6月から7月にかけて行った生涯教育文献調査の回答をもとに、1993年に発行された文献を収録した。
- (2) 領域別の整理は執筆者自身による回答を尊重し、複数回答のものは、一番最初にあげられた領域のみを採用した。
- (3) 領域は次のとおりである。

形式コード I 著 書
 II 編 書
 III 翻 訳 書
 IV 雜 誌 論 文
 V 編纂書論文
 VI 調 査 報 告

区分コード

- | | |
|--------------------------|--|
| 1 生涯教育一般 | 7 生涯教育と学校教育 |
| 1-a 生涯教育の理念 | (学校改革・学校開放も含む) |
| 1-b 生涯教育の歴史 | 8 生涯教育と地域社会 |
| 1-c 生涯教育の内容 | 9 生涯教育と企業内教育 |
| 1-d 生涯教育の方法 | 10 生涯教育と放送・通信教育 |
| 1-e 自己(管理的)学習論 | 11 生涯教育と関連教育施設 |
| 1-f ライフ・サイクル論 | (生涯学習センター・社会教育センター・
公民館・文化センターなど諸施設を含む) |
| 1-g 学習社会論 | |
| 1-h その他 | 12 学習情報・相談 |
| 2 生涯教育と青少年教育 | 13 人材活用 |
| 3 生涯教育と成人教育
(婦人教育も含む) | 14 生涯教育と行政施策
(答申・報告書等も含む) |
| 4 生涯教育と高齢者教育 | 15 生涯教育の推進事例 |
| 5 生涯教育と社会体育・スポーツ | 16 諸外国の生涯教育 |
| 6 生涯教育と家庭教育 | 17 その他 |

- (4) 記載事項は次のとおりである。

〈単行本〉①編著者名②書名③発行所名

〈雑誌・報告書等の論文・記事〉①執筆者名②論文名③所収誌名④巻・号
 ⑤所収頁⑥発行所名

執筆者(著者、編者、翻訳者)を50音順とした。

1. 生涯教育一般

I 著 書

- ・瀬沼克彰, 「生涯学習の新しい展開」, 大明堂, 1—222頁。
- ・山本恒夫, 浅井経子, 手打明敏, 「生涯学習支援へのアプローチ」, 第一法規出版, 全218頁。

II 編 書

- ・倉内史郎, 鈴木真理, 西村美東士, 藤岡英雄, 「生涯学習の生態学—成人学習の個別化状況を探るー」, 野間教育研究所。
- ・白石克己, 「社会教育 I・II」, 玉川大学通信教育部, 205頁。
- ・白石克己, 「社会教育III・IV」。

IV 雜誌論文

- ・佐藤晴雄, 「社会教育の公共性と私事をめぐる問題」, 『帝京大学文学部紀要教育学』第18号, 帝京大学, 239—259頁。
- ・瀬沼克彰, 「日本の生涯学習の進展を考える」, 『生活の設計』4月号, 日本銀行, 10—15頁。
- ・山本恒夫, 「ファジィ概念としての生涯学習」, 『社会教育』第48巻第10号, 全日本社会教育連合会, 38—41頁。
- ・和田ふゆ子, 日本生涯教育学会の生涯教育・生涯学習研究の特徴—「生涯教育文献調査」による分析—, 『常磐大学人間科学部紀要』第11巻第1号, 常磐大学。

V 編纂書論文

- ・佐藤晴雄他, 「生涯学習」, 菱村幸彦編『キーワード教育外来語』, 教育開発研究所。

- ・佐藤晴雄, 「生涯学習と社会教育」, 清水一彦, 佐藤晴雄他編『教育データーランド '94-'95』, 時事通信社, 180—219頁
- ・山本恒夫, 「生涯学習援助システムの理論と実践—ファジィ・システムと学習メニュー方式」, 国立教育研究所編『生涯学習の研究』(上), MT出版, 249—258頁。
- ・山本恒夫, 「生涯学習研究の方法」, 山本恒夫, 浅井絆子, 手打明敏『生涯学習支援へのアプローチ』, 第一法規出版, 188—218頁。
- ・吉川弘, 「我が国における生涯学習の動向」, 福留強編『社会教育委員必携』, 全日本社会教育連合会, 11—19頁。

1—a 生涯教育の理念

IV 雑誌論文

- ・白石克己, ^{ぱくし}「癒しの生涯学習—「ひとがら」から「ことがら」へ」, 『社会教育』48巻10月号, 全日本社会教育連合会, 42—45頁。

1—b 生涯教育の歴史

II 編 書

- ・蛭田道春, 「荒川区教育史」(資料編1), 荒川区教育委員会, 399—453頁。

IV 雑誌論文

- ・白石克己, 「江戸の生涯学習」, 『文藝春秋』71巻4号, 文藝春秋, 318—322頁。
- ・蛭田道春, 「明治20年前後における地方教育会の通俗教育活動」, 『筑波大学日本教育史研究年報』, 33—39頁。

V 編纂書論文

- ・蛭田道春, 「明治20年前後における大日本教育会の通俗教育活動」, 『日本教育史研究』, 第一法規, 251—275頁。
- ・蛭田道春, 「三鷹市教育史」(通史編), 三鷹市教育史編纂委員会, 三鷹市教育委員会, 599—642頁。

VI 調査報告

- ・渡辺典子, (聞き取り)長野県小県郡神川村における学習集団中等教育史研究会『中等教育史研究』第1号「路の会」について, 中等教育史研究会, 24—32頁。

1-d 生涯教育の方法

II 編 書

- ・伊藤俊夫, 山本恒夫編著, 『生涯学習の方法』, 第一法規出版, 全190頁。

V 編纂書論文

- ・伊藤俊夫, 「学習資源の活用」, 伊藤俊夫, 山本恒夫編著『生涯学習の方法』, 第一法規, 56—78頁。
- ・伊藤俊夫, 「生涯学習の評価と活用」, 伊藤俊夫, 山本恒夫編著『生涯学習の方法』, 第一法規, 165—190頁。
- ・小山忠弘, 「民間の教育事業の理解」, 福留強編『社会教育委員必携』, 全日本社会教育連合会, 129—132頁。
- ・手打明敏, 「生涯学習のネットワーク」, 山本恒夫, 浅井経子, 手打明敏編著『生涯学習支援へのアプローチ』, 第一法規, 108—142頁。
- ・手打明敏, 「集団レベルでの学習方法」, 伊藤俊夫, 山本恒夫編著『生涯学習の方法』, 第一法規, 43—55頁。

- ・山本恒夫, 「問題解決技法の活用」, 伊藤俊夫, 山本恒夫編著『生涯学習の方法』, 第一法規出版, 18—29頁。
- ・山本恒夫, 「生涯学習と学習方法」, 伊藤俊夫, 山本恒夫編著『生涯学習の方法』, 第一法規出版, 1—16頁。

1—e 自己(管理的)学習論

I 著書

- ・渡辺康麿, 「自分ってなんだろう—現代日本人の自己形成」, 日本エディタースクール出版部。
- ・渡辺康麿, 「自己形成史分析入門」, 建帛社。

1—g 学習社会論

I 著書

- ・坪田護, 「生涯学習社会と教育」, 坪田護著, 杉山書店, 21—24頁。

1—h その他

IV 雜誌論文

- ・坪田護, 「生涯学習と読書—女子短大生の実態から考える」, 帝京大学『文学部紀要』教育学第19号, 帝京大学文学部, 199—231頁。

V 編纂書論文

- ・野村佐和子, 「生涯学習援助システムの単純化モデルから理論的モデルへの転換—生涯学習援助システム理論構築の基礎作業として—」, 『教育学系論集』第17巻2号, 筑波大学教育学系, 125—136頁。
- ・佐伯信男, 「北陸地方における社会教育主事の執務の実態等に関する一考

察」，金沢大学『大学教育開放センター紀要』第13号，金沢大学・大学教育開放センター，5—24頁。

2. 生涯教育と青少年教育

IV 雜誌論文

- ・岡本包治，「子ども会ジュニア・リーダー研修会の研究」，『社会教育』第48卷562号，全日本社会教育連合会，68—71頁。
- ・斎藤哲郎，「生涯学習時代における子どもの教育を考える」，『千葉教育』10月号，千葉県総合教育センター，4—8頁。
- ・斎藤哲郎，「子どもたちに自然体験がなぜ必要か」，『青少年問題』第40巻8号，(財)青少年問題研究会，12—18頁。
- ・佐藤晴雄，「地域教育活動におけるホンモノ体験の意義」，『大田区青少年対策地区委員会だより』47号，大田区地域振興部，1—4頁。
- ・塚本繁，「学校外ボランティア活動の展開」，『悠』第10巻第7号，ぎょうせい，22—25頁。
- ・由利忠四郎，「団体技術講座」，『あきた青年広論』67～69号，秋田県青年会館，54—55頁。
- ・由利忠四郎，「青春と向き合う」，『あきた青年広論』70～71号，秋田県青年会館，52—53頁。

V 編纂書論文

- ・伊藤俊夫，「今，子どもたちになぜ自然体験が必要か」，『自然体験担当教員講習報告書』，国立信州高遠少年自然の家，3—9頁。
- ・斎藤哲郎，古市勝也，望月厚志，中川聰，佐々木尚毅，渡辺典子，「子どもの学校外活動の実態と学校週五日制の課題—1992年9月12日の子ども，親，学校調査をもとに—」，日本生涯教育学会編『日本生涯教育学会年報—生涯学習社会とボランティア』第14号，日本生涯教育学会，

107—124頁。

- ・斎藤哲郎ほか、「子どもの学校外活動の実態と学校週5日制の課題」、『日本生涯教育学会年報』第14号、日本生涯教育学会、107—124頁。
- ・関貞雄、「情報化社会における青少年期の教育・学習のあり方」、夏芍洋輔『青少年と情報化社会』、神奈川県青少年総合研修センター、65—119頁。

VI 調査報告

- ・斎藤哲郎、「学校週5日制に向けての国の動向」「学校週5日制と子供の評価」、『小中学生の学校外活動に関する調査研究』、青少年教育活動研究会、13—19頁、31—38頁。

3. 生涯教育と成人教育

I 著 書

- ・瀬沼克彰、「余暇社会をデザインする」、学文社、298頁。
- ・瀬沼克彰、「余暇と文化の創造」、『県民カレッジ叢書』、富山県民カレッジ、1—59頁。

IV 雜誌論文

- ・浅井経子、「成人の学習行動に関する研究—学習行動の対称性—」、『淑徳短期大学研究紀要』第32号、1—15頁。
- ・岡本包治、「主婦たちの就労援助講座の研究」、『社会教育』第48巻564号、全日本社会教育連合会、66—69頁。
- ・坂本登、「ライフプランと楽習」、『公済時報』第44巻第2号（通巻482号）、公立学校共済組合、2—9頁。
- ・瀬沼克彰、「生涯学習グループ、サークルのマネジメント」、『社会教育』8月号、全日本社会教育連合会、16—19頁。

- ・瀬沼克彰, 「生涯学習ソフト, 新しい動向」, 『企業福祉情報』No 6, 日本生命, 18—26頁。
- ・瀬沼克彰, 「生涯学習, クオリティを高める方法論」, 『社会教育』10月号, 全日本社会教育連合会, 14—19頁。
- ・添田晴雄, 「現職教育における夜間大学院の必要性と可能性」, 『教育学論集』第19号, 大阪市立大学文学部教育学教室, 17—22頁。
- ・山田誠, 「P. ジャーヴィスの成人学習論(2)」, 中国四国教育学会編『教育学研究紀要』第38巻第一部, 中国四国教育学会, 307—312頁。
- ・渡辺康麿, 「セルフ・カウンセリングへの招き～ある社会教育指導員の試み～」, 月刊『社会教育』, (財)全日本社会教育連合会。
- ・渡辺康麿, 生涯学習最前線キャッチ・アップ「プランナーのためのセルフ・カウンセリングセミナー」, 『社会教育』12月号, 全日本社会教育連合会, 62—64頁。

V 編纂書論文

- ・浅井経子, 「学習行動の構造とその対称性」, 山本恒夫, 浅井経子, 手打明敏『生涯学習支援へのアプローチ』, 第一法規, 144—188頁。
- ・岡本包治, 「高齢化社会と婦人会活動」, 『新潟県婦人連盟学習資料』, 新潟県婦人連盟, 54—63頁。
- ・田中雅文, 「学習継続を促すボランティア活動」, 国立教育研究所内生涯学習研究会編 (代表: 川野辺敏) 『生涯学習の研究』, エムティ出版, 169—183頁。
- ・山崎清男, 「生涯教育の観点にたつ成人女性の生涯学習プランを考える(1)」, 大分県立生涯教育センター『調査・研究報告』第7集, 大分県立生涯教育センター, 18—35頁。

VI 調査報告

- ・瀬沼克彰, 「学習ニーズをどう把握するか」, 『民間カルチャーセンターの

受講者の学習意識に関する調査研究』, 全国民間カルチャー事業協議会, 11—26頁。

- ・田中雅文, 「受講の実態」, 『民間カルチャーセンター受講者の学習意識に関する調査研究』, 全国民間カルチャー事業協議会, 32—45頁。
- ・蛭田道春, 「現代的課題に関する学習プログラム作成の観点」, 『現代的課題に関する学習プログラム事例集』, 神奈川県立かながわ女性センター生涯学習部, 5—10頁。
- ・富士谷あつ子, 「地域の変貌と女子農業従事者の教育課題」, 『農林業問題研究報告論文集』, 地域農林経済学会, 7—12頁。
- ・吉川弘, 「神奈川県内高等教育機関のリカレント教育事業, 及び公開講座に関する調査結果の概要」, 神奈川地域リカレント教育推進協議会実行委員会情報部会, 1—19頁。
- ・吉川弘, 「平成3年度神奈川地域リカレント教育推進協議会委託学習コースに関する調査報告書」, 神奈川地域リカレント教育推進協議会実行委員会情報部会, 1—60頁。

4. 生涯教育と高齢者教育

- ・岡本包治, 「“現代”に挑戦する高齢期学習事業の研究」, 『社会教育』第48巻569号, 全日本社会教育連合会, 58—61頁。
- ・岡本包治, 「長寿社会を支える生涯学習」, 『晨』第12巻2号, ぎょうせい, 23—25頁。
- ・瀬沼克彰「高齢者と生涯学習」, 樋山紘一, 上野千鶴子編「21世紀の高齢者文化」, 第一法規, 103—124頁。
- ・田中美子, 「超高齢化社会と生涯学習」, 川野辺敏編『キーワードで読む生涯学習の課題』, ぎょうせい, 197—240頁。

5. 生涯教育と社会体育・スポーツ

IV 雑誌論文

- ・山本克彦, 遊びの資料「あそびたい子, よつといで」, 『幼児と保育』'93. 4月号~'94. 3月号連載, 小学館, 80—87頁 (各号8ページ)。
- ・山本克彦, あそび特集「秋のくつろぎあそび」, 幼児の指導『ラポム』'93. 10月号, 学習研究所, 12—19頁。
- ・山本克彦, 運動あそび特集「運動会の競技アイデア」, 幼児の指導『ラポム』'93. 9月号, 学習研究社, 18—21頁。

V 編纂書論文

- ・田中美子, 「社会教育かカルチャー・スポーツ産業か」, 『21世紀の地方自治戦略』第13巻, 平本一雄編『自由時間社会の文化創造』, ぎょうせい, 261—301編。

6. 生涯教育と家庭教育

IV 雑誌論文

- ・渡辺康麿, 「生徒に対する否定的感情」他, 『学校教育相談』1月号~3月号。
- ・渡辺康麿, 「セルフ・カウンセリングへの招き」, 『私塾界』(通年)。

VI 調査報告

- ・樋口美雄, 阿部正浩, 和田ふゆ子, 「ストック化社会と世代間のつながり」, (財)家計経済研究所編『21世紀の国民生活像を求めて』, (財)家計経済研究所。

7. 生涯教育と学校教育

I 著 書

- ・市川昌, 「コミュニケーション論としての大学講義法試論」, 放送教育開発センター『研究紀要』第8号—1993, 文部省放送教育開発センター, 171—199頁。

II 編 書

- ・岡本包治編著「有効な学校施設・機能の開放」, 岡本包治編著「現代生涯学習全集 10」, ぎょうせい, 273頁。
- ・清水一彦ほか著, 「教育データランド '93~'94」, 時事通信社, 267頁。

IV 雜誌論文

- ・池木清, 「近年の女子の高等教育進学状況と短期大学の将来」, 『女子教育研究』第12号, 日本橋女学館短期大学, 1—11頁。
- ・池木清, 「女子短大卒業生の3年後を探る一本学第1期生の場合」, 『女子教育研究』第10号, 日本橋女学館短期大学, 25—36頁。
- ・池木清, 総合科目「女性と職業」5年目の教育実践概要, 『女子教育研究』第11号, 日本橋女学館短期大学, 1—34頁。
- ・池木清, 「女子短大卒業生の職業観と職場の実態一本学第3期生の場合」, 『女子教育研究』第10号, 日本橋女学館短期大学, 1—24頁。
- ・池木清, 「女子短大卒業3年後に見る教育効果」, 『女子教育研究』第12号, 日本橋女学館短期大学, 13—33頁。
- ・伊藤俊夫, 「生涯学習社会と教師」, 『中学校』N474, 全日本中学校長会, 16—19頁。
- ・岡本包治, 「大学公開講座のプログラム研究」, 『社会教育』第48卷559号, 全日本社会教育連合会, 56—59頁。

- ・佐々木實,「市民に開かれた学校・大学と今後の課題」,月刊『自治フォーラム』,地方自治研究資料センター,32—37頁。
- ・佐藤晴雄,「大学生の意識にみる理想的な教師像—現代の理想的な教師像をさぐる(下)」,『学校経営』第38巻4号,第一法規出版,103—110頁。
- ・佐藤晴雄,「テレビドラマにみる現代の教師像—現代の理想的な教師像をさぐる(上)」,『学校経営』第38巻3号,第一法規出版,94—104頁。
- ・佐藤晴雄,「休業土曜日を一人で過ごす児童への配慮はなされているか」,『教職研修』'94年2月号,教育開発研究所。
- ・猿田真嗣,「大学開放機関の自己点検・評価項目に関する試論(1)—『環境』と『資源』の意義について—」,『徳島大学大学開放実践センター紀要』第4巻,29—43頁。
- ・清水一彦,「大学教育改革の現状と課題」,『大学研究』第11号,筑波大学大学研究センター,223—298頁。
- ・清水一彦,「国立大学における教学改革の現状と問題点」,季刊『教育法』第95号,エイデル研究所,34—39頁。
- ・瀬沼克彰,「生涯学習時代における学校の役割」,『学校体育』1月号,日本体育社,10—13頁。
- ・瀬沼克彰,「宇都宮大学生涯学習教育研究センターの取組み」,『大学と学生』9月号,文部省,34—40頁。
- ・蛭田道春,「“開かれた学校”の役割」,『社教情報』29号,全日本社会教育連合会,20—24頁。
- ・吉川弘,「生涯学習社会に視点を合わせて—活躍が期待される学校教職員の参加」,生涯学習情報誌『新しい風』1993秋号,実務教育研究所,4—7頁。
- ・渡辺康麿,「道徳教育とセルフ・カウンセリング」,『道徳』NO.14,明治図書,17—19頁。

V 編纂書論文

- ・伊藤俊夫,「生涯学習時代の学校週5日制」,『郵便友の会指導者研究協議会報告書』, 財団法人 日本郵便友の会協会, 7—29頁。
- ・岡本包治,「住民とともに成長する学校開放」, 岡本包治編著『有効な学校施設・機能の開放』, ぎょうせい, 1—4頁。
- ・佐藤晴雄,「生涯学習社会と学校教育」, 小島弘道編『学校教育の基礎知識』, 協同出版, 259—274頁。
- ・田中雅文,「講座公開事業の問題点」, 山田達雄編著『生涯学習の知識ネットワーク—大学公開講座の将来像を求めて—』, 学校法人経理研究会, 47—57頁。
- ・田中雅文,「学習機会の地域的不均衡性とネットワークの課題—学校公開講座の実態分析をとおして—」,『現代生涯学習全集9』, 岡本包治編著『生涯学習施設ネットワーク化』, ぎょうせい, 59—76頁。
- ・堀井啓幸,「派遣社会教育主事と生涯学習活動」,『日本生涯教育学会年報』第14号, 93—106頁。
- ・吉川弘, シンポジウム「生涯学習の現状と大学の課題」, 北海道教育大学旭川分校『生涯学習・地域・大学』, 北海道教育大学旭川分校, 185—245頁。
- ・山本恒夫,「学校教育と社会教育の課題」, 山本恒夫, 浅井経子, 手打明敏『生涯学習支援へのアプローチ』, 第一法規出版, 47—107頁。

VI 調査報告

- ・国立大学協会生涯学習特別委員会編「国立大学と生涯学習」, 国立大学協会, 全62頁。
- ・前田寿紀,「石川県における生涯学習に関する機関等の連携・協力についての研究」, 平成3年度『放送利用の大学公開講座に関する実施状況調査研究等報告書』, 金沢大学, 71—135頁。

- ・前田寿紀, 「短期大学卒業後の継続的な学習の需要に関する調査報告」, 平成5年度『社会教育関係資料II』, 金沢大学社会教育研究振興会, 1—17頁。
- ・前田寿紀, 「講座終了時調査の結果」, 平成3年度『放送利用の大学公開講座に関する実施状況調査研究報告書』, 金沢大学, 23—70頁。

8. 生涯教育と地域社会

I 著 書

- ・瀬沼克彰, 「生涯学習と地域ルネサンス」, 全日本社会教育連合会, 223頁。

IV 雜誌論文

- ・岡本包治, 「高齢者福祉看護講座の研究」, 『社会教育』第48巻561号, 全日本社会教育連合会, 56—58頁。
- ・岡本包治, 「村おこし守門大学の研究」, 『社会教育』第48巻563号, 全日本社会教育連合会, 88—91頁。
- ・岡本包治, 「住民が企画・運営する委嘱学級の研究」, 『社会教育』第48巻566号, 全日本社会教育連合会, 68—71頁。
- ・岡本包治, 「地域づくり参考プログラムと展開計画の研究」, 『社会教育』第48巻568号, 全日本社会教育連合会, 122—125頁。
- ・岡本包治, 「方言・民話をテーマとする学習プログラムの開発の研究」, 『社会教育』第48巻570号, 全日本社会教育連合会, 74—77頁。
- ・瀬沼克彰, 「地域文化を発展させる方策」, 月刊『自治フォーラム』8月号, 自治大学校, 11—17頁。
- ・村田文生, 「日常生活圏域における生涯学習推進のための社会教育活動」, 『社教情報』No.28, 全国社会教育委員連合会, 2—7頁。

V 編纂書論文

- ・瀬沼克彰, 「生涯学習のためのネットワーク化の推進」, 平本一雄編『自由時間社会の文化創造』, ぎょうせい, 164—166頁。
- ・瀬沼克彰, 「生涯学習のネットワーク化」, 国立教育研究所編『生涯学習社会の展望』, 国立教育研究所, 57—72頁。
- ・山田誠, 「市民大学の構成要素」「市民大学の学習プログラム」「市民大学供給者の意見」, 池田秀男編『市民大学に関する調査研究(高等教育研究叢書23)』, 広島大学大学教育研究センター, 12—20頁, 45—57頁, 58—65頁。

VI 調査報告

- ・藤岡英雄, 『徳島県民の生涯学習—成人の学習実態と学習ニーズー』, 徳島大学大学開放実践センター。

9. 生涯教育と企業内教育

IV 雜誌論文

- ・岡本包治, 「生涯学習と企業内教育」, 『経営と道徳』第24巻135号, モラロジー研究所, 14—20頁。

10. 生涯教育と放送・通信教育

I 著 書

- ・市川昌, 「映像教育の文化史的意義と図像学的解釈」, 江戸川大学紀要『情報と社会』第3号—1993, 江戸川大学, 39—55頁。

VI 調査報告

- ・市川昌、菅原健介、今井清文、「地域情報化とCATVの役割(2)」、江戸川大学紀要『情報と社会』第3号—1993、江戸川大学、57—68頁。

11. 生涯教育と関連教育施設

I 著 書

- ・斎藤慶三郎、「社会教育実践の歩み、心の灯びを求めて」、日本ハイコム株式会社。

II 編 書

- ・岡本包治編著、「生涯学習施設ネットワーク化」、岡本包治編著『現代生涯学習全集9』、ぎょうせい、310頁。

IV 雜誌論文

- ・高桑康雄、芝崎順司、「美術博物館における来館者の鑑賞行動について」、『視聴覚教育研究』23、日本視聴覚教育学会、83—103頁。
- ・田中久文、「21世紀の公共図書館像」、『社会教育』1993／2、全日本社会教育連合会、18—21頁。
- ・原義彦、「公民館経営診断指標とその利用」、『社会教育』第48巻567号、全日本社会教育連合会、52—55頁。

V 編纂書論文

- ・伊藤俊夫、「青年の家の方向」、『国立乗鞍青年の家所報』No17、国立乗鞍青年の家、6—8頁。
- ・伊藤俊夫、「生涯学習施設ネットワーク化の目指すもの」、岡本包治編『生涯学習施設ネットワーク化』、ぎょうせい、5—21頁。

- ・岡本包治, 「生涯学習施設づくりの視点」, 岡本包治編著『生涯学習施設ネットワーク化』, ぎょうせい, 1—4頁。

VI 調査報告

- ・清原慶子, 「連携強化のための情報化」, 『資料情報のネットワーク化に関する調査研究報告書』, 科学博物館協議会, 14—17頁。

12. 学習情報・相談

IV 雜誌論文

- ・清原慶子, 「多様化する生涯学習要求にこたえる生涯学習情報データベース」, 『教育と情報』 No.423, 文部省, 16—21頁。

V 編纂書論文

- ・田中美子, 「学習情報ネットワーク形成の現状と課題」, 岡本包治編著『生涯学習施設ネットワーク化』, ぎょうせい, 246—271頁。
- ・山本恒夫, 「学習機会選択への援助」, 山本恒夫, 浅井経子, 手打明敏『生涯学習支援へのアプローチ』, 第一法規出版, 1—46頁。

VI 調査報告

- ・蛭田道春, 「生涯学習情報提供システムの概要」, 『文教施設のインテリジェント化に関するパイロット・モデル研究報告書』, 浦和市教育委員会, 31—41頁。
- ・横浜市教育委員会(浅井経子監修), 「学習相談事業実施方策調査報告書」, 横浜市教育委員会, 全19頁。

13. 人材活用

I 著 書

- ・白石克己, 「生涯学習インストラクター・指導の手引き」, 実務教育研究所。

IV 雜誌論文

- ・岡本包治, 「生涯学習リーガー養成講座の研究」, 『社会教育』第48巻560号, 全日本社会教育連合会, 66—69頁。
- ・岡本包治, 「少年活動指導者養成事業プログラムの研究」, 『社会教育』第48巻565号, 全日本社会教育連合会, 56—60頁。
- ・岡本包治, 「生涯学習ボランティア養成講座の研究」, 『社会教育』第48巻567号, 全日本社会教育連合会, 62—65頁。
- ・蛭田道春, 「日常生活圏等における学習ボランティアの役割」, 『社教情報』28号, 全日本社会教育連合会, 8—11頁。

V 編纂書論文

- ・岡本包治, 「生涯学習と学習ボランティア」, 日本生涯教育学会年報第14号『生涯学習社会とボランティア』, 日本生涯教育学会, 3—12頁。

VI 調査報告

- ・瀬沼克彰, 「学習ボランティア活動の実態」, 『日本余暇文化振興会(ボランティアの養成と活用)』, 日本余暇文化振興会, 77—98頁。

14. 生涯教育と行政施策

I 著 書

- ・岡本包治著、「生涯学習の基盤整備」、岡本包治編著『現代生涯学習全集1』、ぎょうせい、468頁。

II 編 書

- ・岡本包治編著、「生涯学習審議会・推進組織の役割」、岡本包治編著『現代生涯学習全集2』、ぎょうせい、1—294頁。
- ・岡本包治編著、「生涯学習振興計画の構想と実践」、岡本包治編著『現代生涯学習全集3』、ぎょうせい、287頁。

IV 雜誌論文

- ・赤尾勝己、「生涯学習政策における単位累積制度の構想」、『教文研だより』第60号、神奈川県教育文化研究所、1—12頁。
- ・猿田真嗣、「教育関連行政の調整に関する予備的検討(2)—従来の議論の分析ー」、『教育制度研究』25号、教育制度研究会、109—119頁。
- ・蛭田道春、「新しい課題への教育委員会の対応」、『都市問題』84巻4号、東京都市政調査会、39—50頁。

V 編纂書論文

- ・岡本包治、「生涯学習振興計画に関する評価視点」、岡本包治編著『生涯学習振興計画の構想と実践』、ぎょうせい、1—4頁。
- ・岡本包治、「生涯学習と社会教育」、福留強編『社会教育委員必携』、全日本社会教育連合会、19—21頁。
- ・岡本包治、「生涯学習推進会議の在り方」、岡本包治編著『生涯学習審議会・推進組織の役割』、ぎょうせい、1—4頁。

- ・小山忠弘、「市町村における生涯学習振興計画の企画・立案・展開」,『現代生涯学習全集第3巻』,岡本包治編著『生涯学習振興計画の構想と実践』,ぎょうせい,24—53頁。
- ・坂本登,「生涯学習社会の諸類型—生涯学習推進事業の事例を中心にして」,国立教育研究所「生涯学習化社会の展望」,国立教育研究所,23—32頁。

VI 調査報告

- ・高橋利行,「生涯学習情報提供の現状と課題」,総和町生涯学習のまちづくり推進本部『いつでもどこでもだれもが学んでいる町総和,総和町生涯学習推進基本構想』,同本部,16—23頁。
- ・野口昌彦,「町民の学習希望と学習活動」,総和町生涯学習のまちづくり推進本部『いつでもどこでもだれもが学んでいる町総和,総和町生涯学習推進基本構想』,同本部,39—44頁。
- ・野村佐和子,「生涯学習推進体制の整備と今後の課題」,総和町生涯学習のまちづくり推進本部『いつでもどこでもだれもが学んでいる町総和,総和町生涯学習推進基本構想』,同本部,9—15頁。
- ・原義彦,「生涯学習関係事業の体系化」「生涯学習関係施設の現状と課題」,総和町生涯学習のまちづくり推進本部『いつでもどこでもだれもが学んでいる町総和,総和町生涯学習推進基本構想』,同本部,24—34頁。

15. 生涯教育の推進事例

VI 調査報告

- ・釧路短期大学生涯教育センター編,「標茶町との提携を中心とした釧路短期大学生涯教育年報平成4年度」,釧路短期大学生涯教育センター・標茶町教育委員会,1—14頁。

16. 諸外国の生涯教育

IV 雜誌論文

- ・赤尾勝己, 「アメリカの大学における「経験学習」単位の評価過程—生涯学習の観点から—」, 『帝京技術科学大学紀要』第5巻第2号, 帝京技术科学大学, 145—152頁。
- ・赤尾勝己, 「アメリカの生涯学習—苦悩からの脱却を求めて—」, 『神奈川大学評論』第15号, 神奈川大学, 166—172頁。
- ・清水一彦, 「諸外国の高等教育における生涯学習対応」, 『大学と学生』第337号, 文部省高等教育局, 10—15頁。

V 編纂書論文

- ・赤尾勝己, 「第3章 資格証明書主義の展開」, 現代アメリカ教育研究会編『生涯学習をめざすアメリカの挑戦』, 教育開発研究所, 75—96頁。
- ・赤尾勝己, 犬塚典子, 金子忠史, 「第1章 アメリカ」, 国立教育研究所内生涯学習研究会編『生涯学習の研究』第2巻, エムティ出版, 105—113頁。
- ・佐藤晴雄, 「諸外国の生涯学習—国際機関—」, 国立教育研究所内生涯学習研究会編『生涯学習の研究(下巻)』, エムティ出版, 245—260頁。

IV 調査報告

- ・赤尾勝己, 「第1章 アメリカ 1. 生涯学習の歴史と特色」, 『諸外国の生涯学習』, 国立教育研究所, 1—9頁。
- ・市川昌, 「ニュージーランドの成人教育の構造と大学拡張運動」, 『日本生涯教育学会年報』第14号, 日本生涯教育学会, 151—161頁。

17. その他

II 編 書

- ・岡本包治編著、「学習ニーズに応える資格」、岡本包治編著『現代生涯学習全集12』、ぎょうせい、257頁。
- ・田中久文、「日本における図書館専門職員養成の現状と課題」、『学術情報への国際的アクセス拡大のための日米協力：21世紀をめざして』、ユニバーサル・アカデミー・プレス、100—111頁。

V 編纂書論文

- ・岡本包治、「生涯学習成果の評価の考え方」、岡本包治編著『学習ニーズに応える資格』、ぎょうせい、1—4頁。
- ・岡本包治、「生涯学習成果の評価の展望」、岡本包治編著『学習ニーズに応える資格』、ぎょうせい、5—14頁。